

28 FD・SD^{*1}小林 直人^{*2}1. 授業改善から、組織レベルの
マネジメントへ

2020年1月に中央教育審議会が公表した「教学マネジメント指針」¹⁾では、教育の内部質保証のために、「大学全体」レベル、「学位プログラム」レベル、「授業科目」レベル、の3つのレベルそれぞれにおいてマネジメントが必要だとしている。このうち、授業科目レベルのマネジメントは、従来から授業改善等の取り組みとして実施されてきた狭義のFDに相当する。一方、「学位プログラム」(例えば、医学科での医学教育)や「大学全体」レベルでのマネジメントは、カリキュラムを運営する学部・学科、さらに、大学全体で教育改善や教育改革を行う取り組みであり、本指針によって改めて明確に定義された。医学教育の分野別認証評価においては、組織レベルのマネジメントは、世界医学教育連盟(WFME)のグローバルスタンダード、ならびに医学教育分野別評価基準日本版²⁾の領域7「教育プログラム評価」と、領域8「統轄および管理運営」が求める取り組みに対応する。

医学分野での教育改革を進めるにあたって、外部評価機関としての日本医学教育評価機構の重要性は言を俟たないが、各大学・医学部における医学教育の内部質保証のためには、学部長や学科長らのリーダーシップと、医学教育ユニット(教学IR部門を含む)の専門性が求められる。医学教育の専門家の育成にあたっては、日本医学教育学会が主催する「医学教育者のためのワークショップ(いわゆる「富士研」)

の貢献が大きい。「富士研」は1974年から毎年開催され、2019年までに46回を重ねている(2020年は「コロナ禍」のため中止³⁾)。また、医学部長クラスを対象とした研修としては、文部科学省が主催する「医学・歯学教育指導者のためのワークショップ」⁴⁾等がある。医学教育分野別評価が実質化されるためには、学部長・学科長、あるいは教務系・学務系の委員長クラスを対象とした、リーダーシップを含めた教学マネジメント(組織的なFD・SD)のための研修の必要性がますます高まっている。さらに、組織を支える職員の専門性の確立も不可欠であるが、他学部への異動など人事や待遇には未解決な問題が残されている。今後、次世代の学部長を育成するために副学部長や学科長などのポストを活用してリーダーシップを育成するなどの取り組みが不可欠になるとともに、同様の取り組みを管理職候補の事務系職員対象にも実施する必要があると思われる。

2. 医学教育のための教育関係共同利用
拠点

文部科学省は、大学の教職員の組織的な研修等の実施機関として、2009年度から教育関係の共同利用拠点の認定を行っている。医学教育の領域では、岐阜大学の医学教育開発研究センター(医学教育共同利用拠点)が2009年度から継続して認定されている⁵⁾。医学教育開発研究センター(MEDC)は2001年に発足して2021年で20周年を迎えた(丹羽が2020年1月25日に岐阜大学で行われた講演で20年間を振り返っている)。

同センターでは、医学教育領域に特化したFD・SD研修として「医学教育セミナーとワークショップ」や「国公立大学医学部・歯学部教務事務職員研修」などを定期的に開催し、前

^{*1} Faculty Development and Staff Development : the Faculty/Institutional Level

^{*2} Naoto Kobayashi 愛媛大学医学部総合医学教育センター

者は2021年11月の開催で第80回を迎えた。また、学術誌「新しい医学教育の流れ」を刊行しており、さらに2020年度からはわが国で初めてとなる医療学教育修士課程⁶⁾を発足させた。同センターでも2020年度からオンラインによる研修⁷⁾を実施している他、2021年度にはオンライン教材を用いて教員と職員がお互いの業務を理解し教職協働で学ぶ「医療者教育スターキット」⁸⁾を開発した。

この他、看護学教育研究共同利用拠点として、千葉大学大学院看護学研究科附属看護実践・教育・研究共創センターが同じく2009年度から継続して認定されている。医学・医療系に特化した拠点ではないが、愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室（教職員能力開発拠点）では、看護学領域のためのFD・SDに関する書籍をシリーズ刊行している。

「コロナ禍」で必要に迫られて導入された感のあるオンライン研修については、既に多くの実践報告がある^{7, 9-12)}。さらに、臨床研修指導医養成講習会をオンラインで実施したケースもある¹³⁻¹⁵⁾。オンライン開催によって参加者間の交流の機会が減ったという指摘はあるが、今後も対面と遠隔の双方のメリットを生かしたハイブリッド形式でのFD・SD研修が増えると予想される。

3. 博士課程大学院生のためのプレFD

大学・大学院における「FDの義務化」（大学院設置基準では2007年、大学設置基準では2008年）と「SDの義務化」（大学設置基準では2017年）に引き続き、博士課程（厳密には博士後期課程）大学院生を対象として大学教員になる準備としての「プレFD」プログラムを提供することが大学の努力義務になっている。2019年8月30日に「学校教育法施行規則及び大学院設置基準の一部を改正する省令」（令和元年文部科学省令第13号）が公布され、大学院設置基準の改正については同日から施行された。改訂された大学院設置基準¹⁶⁾では、

学生は修了後自らが有する学識を教授する見込みがあることから、そのために必要な能力を培うための機会を設けること又は当該機会に関する情報の提供を行うことに努めるものとする。

と規定されている。この努力義務化に先行して、既にプレFDプログラムを開講している大学も少なくない。総合大学では、他の研究科との共同開講や全学センターによる大学院共通教育科目としての開講など、様々な可能性がある¹⁷⁾。

医学系研究科博士課程の学生は多くがすでに医療人として勤務しており、多忙な学生のためのオンライン教材の開発や、対面授業と遠隔授業を組み合わせたハイブリッド形式の開講も検討されるべきである。なお、医師の卒後教育の領域では、若手（卒後7年以降）教員には臨床研修指導医養成講習会がすでに約20年にわたって実施されている実績があり、この講習会ではカリキュラムデザインの基本も扱われている。ただし、この臨床研修指導医養成講習会はあくまで卒後教育のためのスタッフを育成するのが目的であり、医学部の授業（講義や実習など）を担当するためのプレFDとは区別しておく必要がある。

■文 献

- 1) 中央教育審議会大学分科会、「教学マネジメント指針」（2020年1月22日）、https://www.mext.go.jp/content/20200206-mxt_daigakuc03-000004749_001r.pdf（最終閲覧日：2021.9.6）
- 2) 日本医学教育評価機構、「医学教育分野別評価基準 日本版 Ver.2.3」（2020年11月2日）—世界医学教育連盟（WFME）グローバルスタンダード2015年版 準拠—、https://www.jacme.or.jp/pdf/wfme-jp_ver2.33.pdf（最終閲覧日：2021.9.6）
- 3) 日本医学教育学会、第47回医学教育学会のためのワークショップ（富士研ワークショップ）についてのお知らせ、医学教育2020：51（4）：前付。
- 4) 文部科学省、「医学・歯学教育指導者のためのワークショップ」、https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/iryuu/1340871.htm（最終閲覧日：2021.9.6）
- 5) 丹羽雅之、「FD・SD」、医学教育白書2018年版。

- pp. 126-9, 篠原出版新社, 東京, 2018.
- 6) 岐阜大学医学教育開発研究センター. 岐阜大学大学院医学系研究科医療者教育学専攻修士課程. <https://www1.gifu-u.ac.jp/~medc/graduate/master.html> (最終閲覧日: 2021.9.6)
 - 7) 川上ちひろ, 今福輪太郎, 鈴木康之, 丹羽雅之, 恒川幸司, 早川佳穂, 藤崎和彦, 西城卓也. 医学教育セミナーとワークショップのオンラインシステムを用いた開催の設計の試み, 医学教育 2020; **51** (3): 342-3.
 - 8) 岐阜大学医学教育開発研究センター. 医療者教育スターターキット. <https://www1.gifu-u.ac.jp/~medc/medicaleducation/starterkit.html> (最終閲覧日: 2021.9.6)
 - 9) 横尾英孝, 小野寺みさき, 高橋在也, 木村康彦, 稲川知子, 朝比奈真由美, 伊藤彰一. 臨床実習中止期間中のメディア演習推進のための Faculty Development — ICT 支援, カリキュラム例示, 個別相談—, 医学教育 2020; **51** (3): 336-7.
 - 10) 磯部真倫, 榎本隆之, 錦織宏. Zoom による教育事例検討会—オンライン Faculty Development—, 医学教育 2020; **51** (3): 338-40.
 - 11) 竹中喜一, 仲道雅輝, 村田晋也, 中井俊樹, 小林直人. 遠隔実施による新任教員研修の成果と課題—愛媛大学授業デザインワークショップにおける実践をもとに—, 大学教育実践ジャーナル 2021; **19**: 165-72.
 - 12) 仲道雅輝, 村田晋也, 小林直人. 愛媛大学におけるティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップのブレンディッド開催の実践—対面とオンラインでのメンタリング設計の取り組み—, 大学教育実践ジャーナル 2021; **19**: 173-80.
 - 13) 岡崎史子. Zoom による後期研修医向け臨床指導医養成ワークショップの試み, 医学教育 2020; **51** (3): 341.
 - 14) 近藤猛, 錦織宏. 拘束からの解放—反転授業を活用した完全オンライン型臨床研修指導医講習会—, 医学教育 2021; **52** (3): 263-9.
 - 15) 近藤猛, 木村武司, 橋本忠幸, 清水郁夫. オンライン臨床研修指導医講習会を有益にするための 10 tips, 医学教育 2021; **52** (1): 61-4.
 - 16) 文部科学省. 「学校教育法施行規則及び大学院設置基準の一部を改正する省令」(令和元年文部科学省令第 13 号), https://www.mext.go.jp/content/1420657_2_1.pdf (最終閲覧日: 2021.9.6)
 - 17) 今野文子. 大学院生を対象とした大学教員養成プログラム (プレ FD) の動向と東北大学における取り組み. 東北大学高度教養教育・学生支援機構紀要 2016; **2**: 61-74.